

緩和ケアだより

松江市立病院 緩和ケア病棟広報誌

緩和ケア病棟の水郷祭

2019
vol.
28

 松江市立病院 緩和ケア病棟

題字デザイン：Katsuto Nagira

緩和ケア病棟の理念

緩和ケアとは、苦痛の緩和を必要とする悪性疾患の患者とその家族のQOL（人生と生活の質）を改善することです。

当院緩和ケア病棟では、患者やその家族の想いを可能な限り尊重し、その人らしい生活を送ることができるように、さまざまな専門家とボランティアがチームとして支えます。

基本方針

1. 痛みやその他の苦痛となる症状を緩和します。
2. 患者さんがその人らしく生きることができるように支えます。
3. 無理な延命や意図的に死を招くことはしません。
4. 病気の早い段階から適用し、積極的な治療に伴って生ずる苦痛にも専門性をもって対処します。
5. 患者さんの希望に沿い、在宅への支援を行ないます。
6. 患者さんの療養中から死別した後に至るまで、家族が様々な困難に対処できるように支えます。



CONTENTS

● Message 『緩和ケア病棟の“食” ～8年間を振り返って思うこと～』	1
● 新入職員紹介	2
● 今回のミドコロ～水郷祭～	3・4
● 季節の行事	5・6
● 徒然日記	7





管理栄養士
森山 純子

緩和ケア病棟の“食” ～ 8年を振り返って思うこと～

私が緩和ケア病棟の担当栄養士となつてから、早いもので8年が経過しました。当初は、食欲がなく、食べられるものや量が限られた患者さんに対し、どうしたらもっと食べていただけるだろうと躍起になっていたと振り返ります。そういった姿勢で栄養士に向かわれた患者さんは、「食」がプレッシャーとなり、運ばれてくるお膳を苦痛と感じられていたのではと、今となっては反省ばかりです。

病棟での関わりの中で「食べることは生きること」を改めて実感し、「食」の重要性を患者さん、ご家族からたくさん教えていただきました。

個室で一人きりの食事では、ほとんど食べられなかった患者さん……、病棟スタッフと共にテーブルを囲み、ちらし寿司を皆で食べた時は驚くほどの食欲と、素敵な笑顔がありました。

病状の進行で食べるのが難しくなった患者さん……、大好きだったお汁粉を一口味わい、「美味しい……」と絞り出した一言に、側で寄り添う娘さんは涙を流して喜んでくれました。

たった一口であっても、口から食べることは、生きる活力となり、患者さんだけで

なくご家族へも大きな喜びをもたらします。

本来楽しみであるべき「食」が、病状や症状により苦痛となってしまうことがあります。美味しく食べられない原因は、痛み、吐き気、味覚の変化、息苦しさ……など、様々です。それらの症状をチーム一丸となって緩和したうえで、患者さん個々の「食」に対する思いに寄り添うこと、患者さんの生活歴の中にどのような「食」があったかを、解ろうとすることが大切ではないかと感じています。

まだまだ力不足ではありますが、今後も、「美味しい」という笑顔を求め、スタッフと協力しながら、患者さん、ご家族との時間を大切に、「食」に関するお手伝いができたらと思っています。



新入職員紹介

緩和ケア病棟のスタッフは、症状緩和、その人らしさを大切にした日常生活の援助、家族のサポートなどに努めています。また、患者さん、ご家族の希望を把握し、環境を整え、多職種間での調整役をしています。このコーナーでは松江市立病院の緩和ケア病棟の新しいスタッフを紹介します。



看護師長

和田 祥恵

4月から病棟師長として消化器外科病棟から異動となりました和田です。

私は新病院が出来た当初、緩和ケア病棟のスタッフとして勤務していました。私と緩和ケアとの関わりは旧病院の時に消化器内科に勤務していた時、患者さんの療養を支える中で、自分の知識のなさや、もっと出来る事はないかとか日々の業務の中でジレンマを感じた事、そして自分の家族を亡くしたことから色々な思いがあり、緩

和ケアアドバイザー研修に参加したことが始まりでした。立ち上げの時にこの時のアドバイザー研修に参加した3人が7西に配属されました。もう10年以上前になるのか……とこの文章を書きながら改めて感じています。10数年の中で何回か異動のタイミングがありましたが、数年後には7西に戻り、異動になってはまた戻ってくるという……。何か緩和ケア病棟には縁があるのかなあと感じています。スタッフとして勤務している時と違い、管理的な場面での関わりが多くなっていますが、まずは第一に病棟スタッフとのコミュニケーションを大事に業務にあたっていきたいと思っています。この4ヶ月いろいろ皆さんに本当にたくさん助けられながらいろいろな場面を過ごすことができました。その中で新病院開院当時の事も思い出しながら歴代の師長が積み上げられた歴史を大切に、私なりの病棟を造っていったらと思います。

病棟が出来たばかりで色々なことが分からない中で手探りの状態から、今の緩和ケア病棟があるのも、病棟立ち上げから関わって頂いている色々な方の大きな力があってこそではないかと思っています。

患者さんやご家族はもちろん、緩和ケア病棟で関わる全ての人が笑顔の多い時間がもてますようにお手伝いさせていただきます。

まだまだ看護師長としては新米でご迷惑をおかけすると思いますが、何卒長い目で温かく見守っていただければと思います。



看護師

平野 優子

7階西病棟で働きはじめてもうすぐ1年になります。

いろいろな方と接し、学ぶことが多い1年でした。これからもみなさんが日々穏やかに過ごせるよう笑顔で援助していけたらと思います。

どうぞよろしくお願いいたします。



看護師

松浦 未佳

4月から病棟で勤務しています。

まだまだ至らない点が多いと思いますが、患者さん、ご家族が心地よく穏やかに過ごせるよう努めていきたいです。

よろしくお願いいたします。

今回の
ミドコロ

松江水郷祭

令和元年8月3日(土)

恒例の、松江水郷祭の花火大会です。今年は二日間にわたって打ち上げ花火が上がり、この日は1万発の花火が松江の夜空を焦がしました。

ラウンジでは、金魚すくいやスーパーボールすくい、たこ焼きなどまさにお祭りさながらの屋台が！子供たちも大喜びでした。

風が程よくあり、皆さん最後まで楽しめました。ボランティアの皆さん、今年も本当に有難うございました！



お祭りの雰囲気出てきました



日が暮れて来て、
雰囲気できました～



行ってらっしゃい！
楽しんできてくださいね



準備が大変～



今年は金魚すくいも
やります！



今年もやります、
かき氷！

メニュー豊富

マンゴー	宇治茶	トロピカル ビーチ	ハワイアン スウィーツ
みぞれ	いちご	めろん	レモン



金魚すくい
やりたーい！



金魚屋さんにスーパーボールすくいさん、
準備はいいですか？



あ～、開店前にもうやってる～！

試行だわね、試行

2019/08/03



高い所の作業なら任せて



準備万端！



たこ焼き人気なもんで。

うまくすぐえるかな？



家族総出で手伝いに
来てくれたスタッフ

かわいい髪飾り〜♪

中右先生の息子さんも
テキ屋さんの手伝いです

スイカも甘くておいしかったね



もうすぐ花火はじまるよ

始まった〜!



花火が始まりました

安部先生を囲んで一枚♪

綺麗だね



いつもたこ焼きお疲れ様♪
ほんとだよ〜



ファイナル

花

平成31年4月3日

見

お花見に行きました。ちょうど8部咲きくらいでした。風が強かったですが、きれいな桜に大満足でした。



端午の節句

令和元年5月9日

端午の節句のイベントを行いました。市内でギター講師&農家をされている青砥さんにお越しいただき、ギターミニコンサートを開催しました。「農業が忙しくて日焼けしてしまって。黒いけど僕の顔見えますか？」など、楽しいトークも交えてのあっという間の1時間でした。



準備中♪



本日のプログラム



ボランティアさん手作りの鯉のぼり。いつも素敵です。



市内でギター講師をしている青砥さん。農家の仕事も忙しいそうです！



沢山の方が参加してくださいました！



近くで見ると迫力あります



初司会で緊張中



柔らかなギター演奏



美味しそう！

七夕

令和元年7月4日

七夕会を行いました。短冊に願いを書いて、皆で夏の午後のひと時を楽しみました。市内でフラウトラベルソの前身、『フラウトラベルソ (トラヴェルソ)』の製作をしている竹佐さんによるミニコンサートが開催されました。夏のひと時、約300年前の音色に皆魅了されました。



柔らかで美しい、300年間の音色です



和田看護師長の挨拶



柔らかな美しい音色です



美味しそう！



楽器の説明をする竹佐さん



演奏のお礼に、花束の贈呈です



最後はみんなでトーンチャイム演奏です。



みんなどんな願いを書いたのかな



フラウトラベルソの展示もしていただきました



これがトーンチャイムです



これもフラウトラベルソ



「へえ〜、きれいな楽器だね〜」

徒然日記



ボランティアさん作成



魚は涼しそうですが外は猛暑です



メガカはみんなの癒しです



夕方のひと時

病棟で飼っている熱帯魚が産卵しました

テッキの噴水に鳥が水浴びにやってきました



は～
すつきりした!



あつついわ～



生まれた稚魚たち。
元気に育っています。



梅雨の外來駐車場 (トイカメラで撮影)

編集後記

今年は、梅雨という名の豪雨だったように思います。被害にあわれた地域の皆様へのお見舞いと、一刻も早い復興を願わずにはおれません。

そしてその梅雨豪雨が明けたと思ったとたんに、今度は猛暑がやってきました。梅雨の寒暖差とこの猛暑で、くたびれてしまいますね。猛暑がつらいのは動物も同じなようで、今年は可愛らしい小鳥が水浴びに来るようになりました。ラウンジではメダカや美しい熱帯魚が涼を与えています。

今年もこの猛暑を吹き飛ばしながら、みんなで乗り切りたいと思います。

西 紫

編集
委員会

編集長：安部 睦美
校正：岩下 智之、和田 祥恵
編集・写真：西 紫

令和元年8月 発行

松江市立病院 緩和ケア病棟

〒690-8509 島根県松江市乃白町32-1

TEL : 0852-60-8000 (代表) / FAX : 0852-60-8005 (総務)



松江市立病院
MATSUE CITY HOSPITAL